

# 議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～

あさぎり町議会

検索



通年議会  
第3～7回会議

令和4年度決算 .....	2～7P
一般質問 .....	11～17P
常任委員会・一部事務組合報告 .....	18～20P
議会の動き .....	22～23P

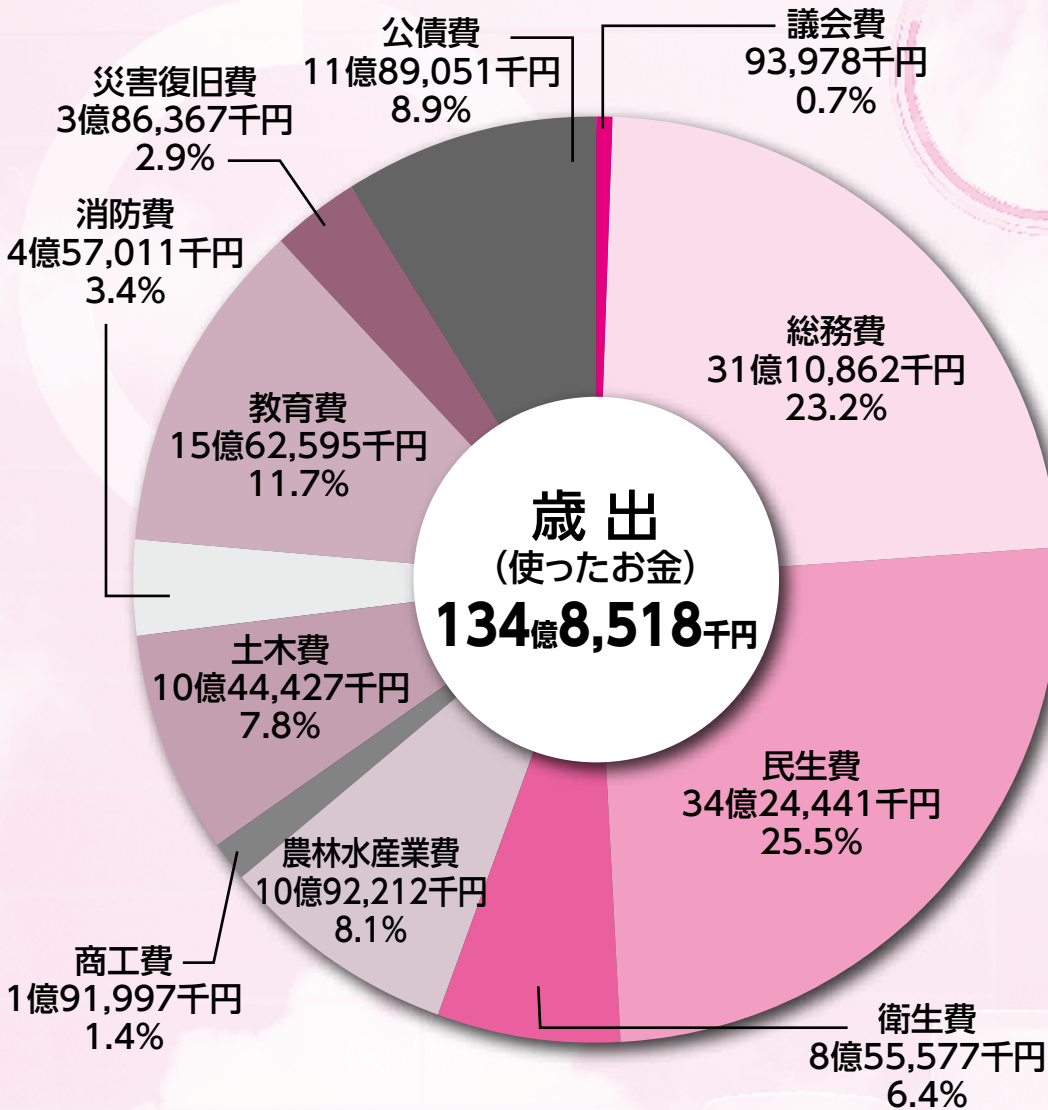
# 令和4年度 決算

一般会計歳出

# 134億8,518千円

前年度比6.3%減

## 令和5年度 第6回 会議



9月定例会は、9月5日から15日までの日程で開いた。一般質問では、7人の議員が登壇し、町政の課題を質した。【質問の内容はP11〜P17】

町長から提案のあった条例や補正予算など6議案、令和4年度一般会計・特別会計・企業会計の決算を慎重に審議。全て全会一致で原案のとおり可決・認定した。

### 令和4年度 各会計決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		143億60,578千円	134億8,518千円
特別会計	国民健康保険	21億13,081千円	20億90,466千円
	後期高齢者医療	2億40,644千円	2億10,373千円
	介護保険	20億44,349千円	18億77,915千円
	球磨郡介護認定審査事業	44,909千円	32,046千円
	球磨郡障害者認定審査事業	9,144千円	5,785千円
企業会計	水道事業計	4億24,725千円	3億98,254千円
	収益的収支	4億47,130千円	5億44,881千円
	資本的収支	6億24,878千円	6億7,213千円
	下水事業計	1億95,327千円	4億54,107千円
合計		207億63,549千円	196億24,303千円

# 町の財政状況 「健全段階」

全会一致で  
認定

## 財政健全化判断比率等審査意見書

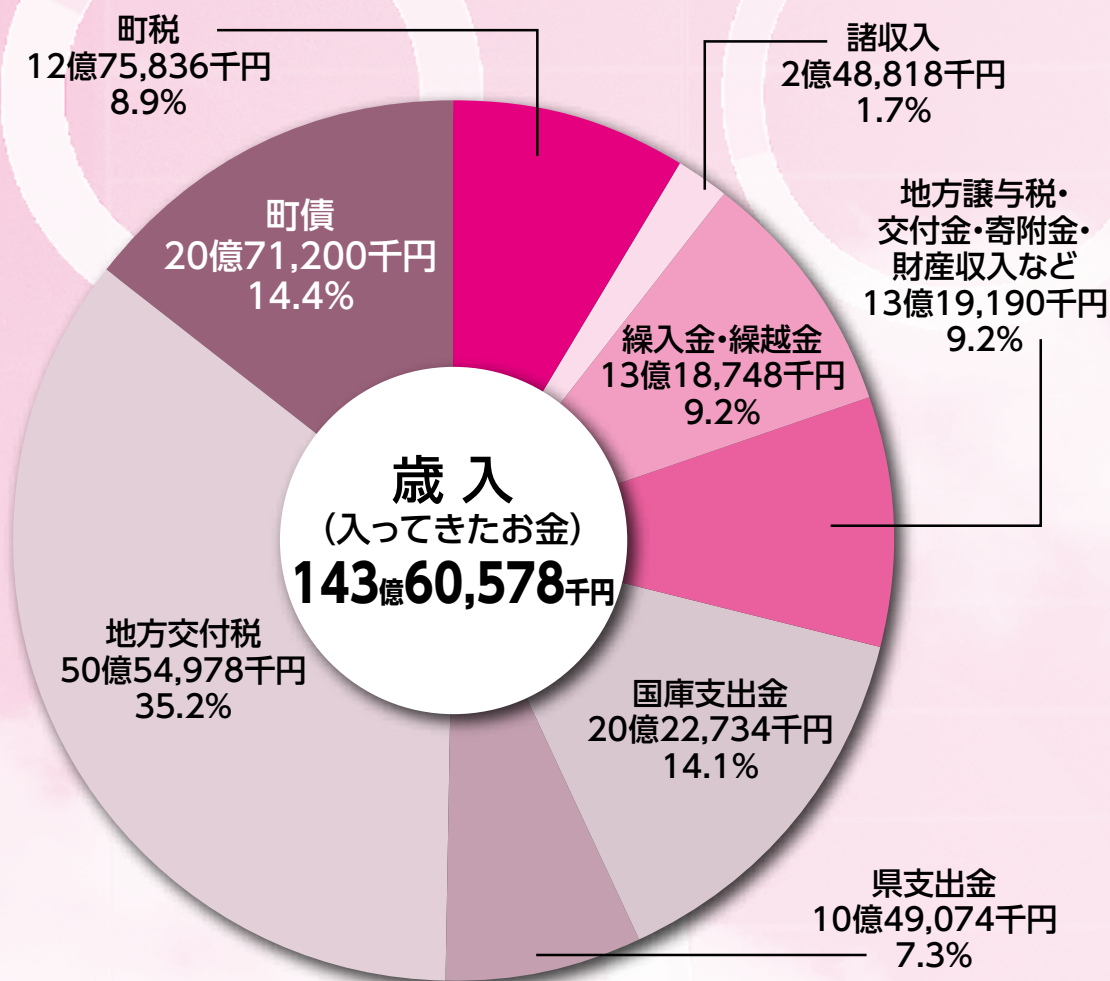
令和4年度一般会計の歳出決算額は、134億8,518千円で、前年度比9億4,635千円(△6.3%)の減となった。減少の要因は、子育て世帯への新型コロナウイルス感染症対策事業の終了、特定目的基金積立金が減少したため。

長引くコロナ禍で町民の生活を守るために、農林業者・商工業者などの事業支援や地域経済循環対策、各種施策を推進した。

ここでは、決算の状況と主な事業を報告する。



決算の詳細は  
町のHPから



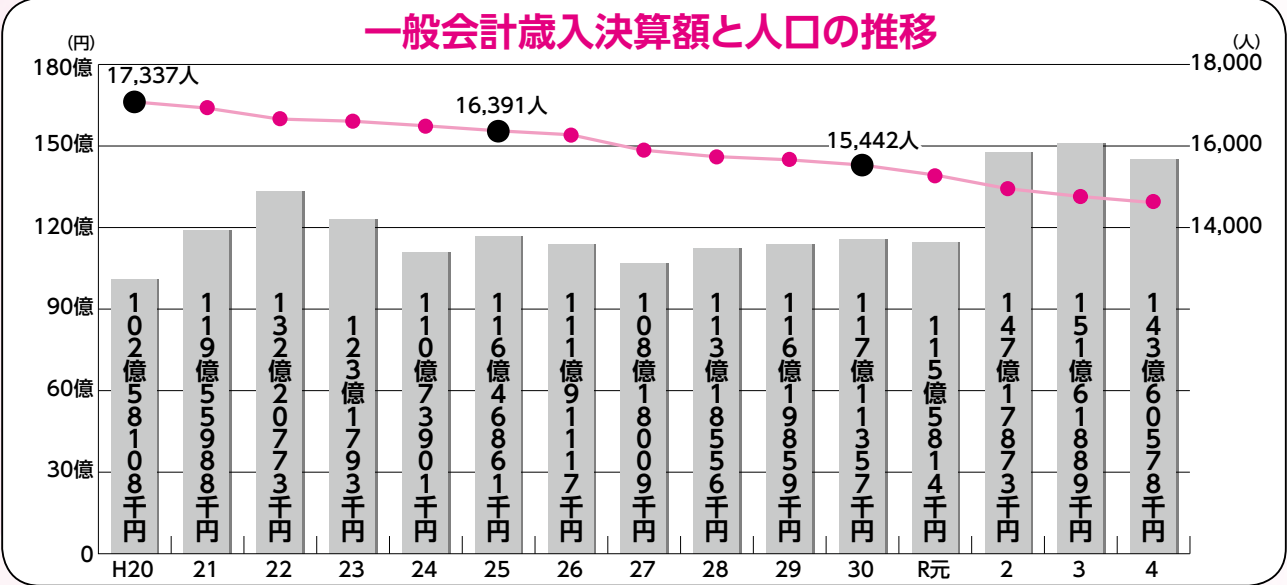
- ◆財政用語の解説◆
- 【地方交付税】町の財政力に応じて国から交付されるお金
  - 【国庫・県支出金】町が行う事業に対して国・県から補助されるお金
  - 【町債】事業の財源に充てるため国などから借りたお金
  - 【地方譲与税】国税である自動車重量税などが一定の割合で町に交付されるお金
  - 【繰入金】積立金から取り崩したお金
  - 【諸収入】延滞金、預金利子などのお金
  - 【総務費】一般的な事務経費や財産管理などの経費
  - 【民生費】高齢者や児童など社会福祉のための経費
  - 【衛生費】集団検診やごみ処理などの経費
  - 【農林水産業費】農林水産業の振興や農道・林道の整備などの費用
  - 【商工費】商工業の振興や観光開発の経費
  - 【土木費】町道や河川整備などの費用
  - 【教育費】学校教育や社会教育などの経費
  - 【公債費】事業を行うときに借入れたお金の返済金

おしそで  
ひばりちゃん



※ひばりは町鳥

## 一般会計歳入決算額と人口の推移



スマートウェルネスシティ事業  
(健幸運動教室等 **15,529千円**)



令和2年7月豪雨・令和3年7月～8月豪雨・  
令和4年台風14号災害復旧事業  
(農地・林道・林道施設)  
**2億52,468千円**



中学校長寿命化事業 **4億29,343千円**



通学路整備事業 **24,343千円**



新型コロナウイルス感染症対策関連 **5億53,221千円**

# 消防団の費用弁償は 郡内では下位である

## 令和4年度決算 審議内容の抜粋

### 総務課

**問** 消防団員の確保または増加につながるような報酬等の待遇面の充実を図るべきでは。

**答** 待遇面はできるかぎり充実させたいとは思っているが消防団幹部や上球磨4か町村との協議の中で考えていきたい。

**問** 自主防災組織の活動には各組織間で温度差があると思うのだが。

**答** 今後、組織のリーダーの育成支援、または防災マップや支えあいマップの作製支援等を積極的に行っていきたい。

**問** 防災士の資格取得に対する経費の補助は。

**答** 資格取得の補助は内部で検討したいと思うが消防団分団長経験者は申請だけで資格が取得できるので、できるだけ資格取得をお願いし、町全体の防災意識の向上を図りたい。

**問** 現在借り上げてある防災倉庫の今後の見通しは。

**答** 現在2年目だが、借り上げを続けるのか違う形で整備していくのか今後検討していく。



借り上げ中の(有)江里運送倉庫

**問** 空き家実態調査・空き家対策基本計画の成果と進め方は。

**答** 居住可能な空き家から倒壊または倒壊の恐れがある空き家は674戸あり、空き家の解体補助金として、50万円3件分を予算化。

**問** 第二庁舎建設に関連して町有林（70年生檜）5畝で

2, 020㎡から選別して1, 300㎡を使用すると説明があつている。不足分が出ることに納得できない。

**答** 伐採から運搬まで予定どおり、製材を行った結果、不足分が生じた。

**問** 財政力指数は県下45市町村中39位の位置にあり、監査意見書で財政力強化が求められているが、今の財政状況をどう捉えているか。

**答** 自主財源に乏しく、地方交付税などの依存財源に頼らざる得ない状況である。さらに行財政改革を進め、未来につながる健全な財政運営を行う。

**問** 行政区の再編成の取り組みは。

**答** 行政区の再編成について上地区を主に外向いて話をしたが、将来的には統合も必要かもしれないとの意見もあつている

が、現時点では難しいのではないかと判断している。

**問** 消防団の費用弁償については、1, 100円となつている。郡内では下の方であり、改定する必要がある。

**答** 実態を精査してみる。

### 企画政策課

**問** テレワーク拠点のモニターツアーの実績と感想は。

**答** 8事業者に参加いただき、①地元の神社の祭りや地域の行事に触れたことも良かった、②近隣の市町村との連携ができたらもっと良いのではとの意見を頂いている。



モニターツアーの様子

# 生ごみの収集地区の 拡大を!

## 令和4年度決算 審議内容の抜粋

**問** 地方バス運行等特別対策補助金が約2,700万円、くま川鉄道経営安定化補助金1,900万円とあるが、公共交通機関の今後の見通しは。

**答** 鉄道がない村ではバスが公共交通機関であるので両方存続という形で進めているが、財政負担等の問題も含めて関係市町村で協議を進めていきたい。

**問** 総合戦略費ではどのような事業をしたのか。また、これからの総合戦略室の位置づけは。

**答** スマートウェルネスシティ事業等の推進に活用した。現在はまだ組織改革を行っていないので、これまで通り総合戦略室として動いている。

### 財政課

**問** 財産に関する調査の立木の推定蓄積量の計算方法

と、固定資産台帳の金額の計算方法は。

**答** 立木の推定蓄積量は町の森林経営計画より材積を算出し金額は国税庁の立木の標準価格表を用いている。

### 商工観光課

**問** 谷水薬師の休憩所を含めての管理には、谷水薬師保存会の高齢化等の課題が見えているが。

**答** 夕薬師や麓城の紅葉の時期等は、警備会社に駐車場の誘導等を委託しているが、その他の管理については高齢化等の課題もあるので今後検討したい。



谷水薬師の売店

### 税務課

**問** 市町村たばこ税が予算額に対し約1,200万円の増額となっているが積算の根拠は。

**答** 例年、前年度調定見込額の9割掛けで算出している。たばこ税率の改正や課税数量が増えたことが、増額の要因と思われる。

### 町民課

**問** 生ごみ収集運搬委託料と生ごみ処理委託料が増加しているが。

**答** コロナ禍が開けて飲食店家庭等からも増えている。

### 生活福祉課

**問** ヘルシーランド、ふれあい福祉センターの利用者数は。

**答** ヘルシーランドは令和2年度はコロナ禍等の影響により8万6,464人、令和4年度は9万6,659人と増えている。ふれあい福祉センターは令和5年度9,070名、令和4年度

1万4,328名となっている。

**問** ふれあい福祉センターの名称が「かえで館」に変わったが看板の取替も必要でないか。

**答** 現在の取組として、広報紙、ホームページ等にてふれあい福祉センター（かえで館）という記載方法で周知している。愛称が浸透してきたら、時期を見極めて変えていきたい。看板については、検討する。

**問** しらがね寮の今後のあり方は、民間譲渡が良いのでは。

**答** 民営化の方向で検討していきたい。



しらがね寮全景

# 町花リュウキンカは どうなってるの？

## 令和4年度決算 審議内容の抜粋

**問** 障がい児通所支援費の人数は。

**答** 令和4年度で対象者が103名、通所している事業所が18あるが町内では5事業所毎年100人前後が利用している。

**問** 地域に住む人に寄り添って仕事をする事が地方自治体の役割であるのに、生活困窮者が受給できるはずの保護費が社協の職員のミスで受給できなかった事案の顛末と対応について。

**答** ご迷惑をかけたことは事実であり、よき方向に向かうよう対処しなければならない。

**問** 自立支援につながる自信や生きがいをもって社会参画をしていく「農福連携」の取り組みは。

**答** 障がい者の方の就労支援と、農業部門の高齢化や労働力不足を補う取り組みとして、障がい者の方と農家の方をつなぐコーディネートが熊本県に設置されている。

### 健康推進課

**問** 健幸運動教室の課題の中で、自分で運動を行うことに加え、運動を通して見て楽しむ仲間づくりの機会の増加とあるが、今後の取り組みは。

**答** いろんなデータを収集した中で、社会参加、人と人とのつながりが大事ということで、運動教室は1年経過すると自主運営となるのでフォロワーアップ事業等、活用しながら各地区で拡げ参加しやすい環境づくりを検討していきたい。

### 教育課

**問** 須恵文化ホールの利用者数、自主文化活動計画は。

**答** 令和4年度は大ホールの大井等の改修を行ったので自主文化事業は実施していない。利用者数は令和4年度5,049人うちコロナワクチン接種に伴う分が3,502人となっている。現在、ワクチン接種で利用できない状態であり来年度に向

けて自主事業等を予算計上したい。

**問** 免田丸池に群生していた町花「リュウキンカ」が絶滅の危機に瀕している。現状と対応策について。

**答** 保全・保護のため、専門家の意見を聴きながら、必要であれば「検討委員会」を立ち上げ、必要経費の予算計上をする。



絶滅の恐れがあるリュウキンカ  
(令和4年4月撮影)

**問** 上村焼の運搬量、保管場所は。

**答** 寄贈された上村焼は約150個。現在、生涯学習センターに保管保存している。



段ボールに保管されている上村焼

### 農林振興課

**問** 鳥獣害対策として、銃免許取得・道具・弾などの補助の考え方は。

**答** 捕獲隊の活動補助をしており、個人所有物に対しては考えていない。

### 後期高齢者医療特別会計

**問** 歯科口腔検診受託料が80名となっているが、全体の何割か。

**答** 被保険者が平均2,990名で2・6%の方が受診している。

## 第3回から第7回会議

全議案  
全会一致で可決

### 第3回会議（7月18日開議）

#### 1. 須恵送水ポンプ場整備工事

##### (第2期) 請負契約の締結について

契約の相手 有限会社皆越電気工業  
契約金額 89,430千円

#### 2. 川南浄水場砂洗機の買入れについて

契約の相手 (株)水機テクノス福岡支店  
契約金額 9,570千円

#### 3. 中学校改修に係る学校備品の買入れについて

契約の相手 株式会社OAシステム岩本  
契約金額 4,451千円

#### 4. 専決処分

令和4年9月の台風14号により岡原地区全域の断水が発生。緊急時用井戸の運用を開始し水道水を配水したが、部品への砂混入により家庭の機器が故障したため損害賠償をした。

戸数 4戸 金額121千円

(損害額は全額、保険により補填される)



須恵送水ポンプ場の建設状況

### 第4回会議（8月7日開議）

#### 1. 旧東庁舎解体工事について

契約の相手 有限会社富山産業  
契約金額 63,800千円

#### 2. 旧上庁舎解体工事について

契約の相手 丸昭建設株式会社  
契約金額 106,370千円

#### 3. 専決処分

一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出それぞれ16,500千円を追加、  
総額130億17,797千円とする。

令和5年6月 台風6号によるもの

- ・ 林業施設災害復旧費 12,000千円 設計委託料
- ・ 公共土木施設災害復旧費 4,500千円 設計委託料



旧東庁舎解体



旧上庁舎解体



## 第5回会議（8月28日開議）

### 1. 町道立野線災害復旧工事その1（令和4年発生災害） 請負契約の締結について

契約の相手 有限会社富山産業  
契約金額 94,380千円

### 2. テレワーク拠点整備工事請負変更契約の締結について

契約の相手 株式会社勇工務店  
変更による増額 16,456千円

### 3. 町長の給料の減額に関する条例の制定について

9月1日から11月30日まで3カ月10%を減じるもの。  
理由：テレワーク拠点整備工事における不適切な事務処理（旧上保健センター  
トイレ工事の事前着工が確認された）ため。



町道立野線

### 4. 専決処分

(1)旧岡原庁舎解体工事の増額による契約変更  
金額 592千円

(2)一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ1,460千円を追加、総額130億32,397千円とする。

令和5年6月 台風6号による

- ・災害復旧費 農地費 3,800千円機械借上料
- ・林道維持費 2,000千円機械借上料
- ・河川総務費 1,300千円重機借上料
- ・農地災害復旧費 500千円測量委託料

(3)令和5年5月22日 免田マンホールポンプ2の故障により汚水がもれ圃場へ  
流入し飼料作物の収穫ができなかったため損害賠償した。

件数1件 金額108千円（損害額は全額、保険により補填される）

## 第6回会議（9月8日開議）

### 1. 公共施設マネジメント調査特別委員会報告

多額の投資を伴う光ブロードバンド整備事業に下記の点を重視すること。

- (1)全ての町民がデジタル化によるメリットを享受できる社会にするため加入率の増加を図る。
- (2)事業費の圧縮等効率的な整備策について配慮する。
- (3)既存の通信事業者と新規通信事業者との連携、協業等によって他自治体以上の町民サービスが提供できるような具体的提案を求める。
- (4)地デジ難視聴対策について具体的な提案を求める。

### 2. 一般会計補正予算（第5号）

歳入歳出それぞれ3億66,162千円を追加  
総額133億98,559千円とする。

主な事業

- ・光ブロードバンド整備事業補助金 90,000千円  
令和6～令和7年度 9億円（債務負担行為補正）
- ・財政調整基金積立金 2億5,101千円
- ・eスポーツイベント企画運営業務委託料  
328万1千円（町制施行20周年記念イベント）
- ・須恵小学校食堂屋根改修工事費 1,000万円



3月に社協で開催された  
eスポーツの様子

次頁に  
続く

## 第6回会議（9月8日開議）

前頁に  
続く

3. 国民健康保険特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出それぞれ555千円を追加。総額21億84,569千円とする。
4. 介護保険特別会計補正予算（第1号）  
歳入歳出それぞれ7,230千円を追加。総額20億36,547千円とする。
5. 水道事業会計補正予算（第1号）  
収益的収入 105千円を追加  
収益的支出 1,050千円を追加  
資本的収入 2,600千円を追加  
資本的支出 3,132千円を追加
6. 権利の放棄について  
水道料金 4件 134千円  
滞納処分できる財産がなく、債権回収が著しく困難・不能であるため。
7. 令和4年度 林道芋の八重線災害復旧工事請負契約の締結について  
契約の相手 上瀨建設有限会社  
契約金額 61,820千円
8. スクールバス車両の買入れについて  
契約の相手 株式会社球磨建機サービス  
契約金額 9,540千円
9. 学校給食センター配送車両の買入れについて  
契約の相手方 株式会社中山自動車サービス  
契約金額 9,644千円
10. 議会議員の議員報酬等の減額、支給停止及び不支給に関する条例の制定について  
疾病その他の事由により、長期間町議会の会議を欠席することを余儀なくされた議員の報酬や期末手当を減額する条例を新たに制定する。

### 議員報酬等の減額 支給停止の条例を制定



更新予定のスクールバス（イメージ図）

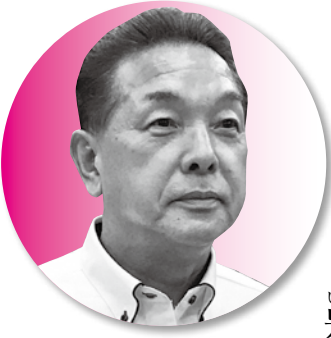
## 第7回会議（10月4日開議）

### 町長・議員の同日選挙の手続きを明確に

1. 消防団新基準活動服の買入れについて  
契約の相手 株式会社 ダイワ熊本支店  
契約金額 17,393千円
2. 一般会計補正予算（第6号）  
歳入歳出それぞれ793千円を追加。  
総額133億99,352千円とする。  
（会計年度任用職員報酬等の増額）
3. 町議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について  
地方自治法の一部改正によって、議員個人による町との請負・物品納入を、年間300万円を上限とする。
4. 町政治倫理条例の一部を改正する条例の制定について  
議員の配偶者、二親等以内の親族が経営する企業は、町との請負・下請、物品納入を300万円を上限とし、この事を遵守する。
5. 町議会基本条例の一部を改正する条例の制定について  
議員と町長選挙を同時に実施するための議論は、行財政改革の視点だけでなく、町政の現状と課題を考慮するとともに町民の意見を聴取する。そのために特別委員会を設置する。よって、議会運営の最高規範である町議会基本条例の一部を改正する。

### 議員及び議員の配偶者 2親等以内の親族は町との 請負、物品購入は300万円まで

7人が登壇



いわもと やすのり  
**岩本 恭典** 議員

## 鳥獣害被害及び対策は

**問** 令和3年度の全国  
の野生鳥獣害による農産物被害額は155億円、被害面積が約3万3,000畝、被害量が約46万2,000トということだが、あざぎり町の農産物および居住地の被害状況は。

### 農林振興課長

共済組合から得た被害の数値になるが、令和3年度は、鹿の水稲の被害が0・86畝、90万5,000円。飼料作物関係が1・51畝、32万2,000円。たばこは一部被害が出ており、0・12畝、61万8,000円。イノシシは、0・42畝、14万2,000円。野菜関係が0・15畝、9万7,000円である。

森林関係(杉、檜)が、森林組合、山林監視員等々の話を伺って推定の面積になるが146畝、1,571万6,000円という状況で、合計149・06畝、被害金額1,780万円となっている。

### 農林振興課長

令和4年度は、水稲関係が0・82畝、241万1,000円。飼料作物が0・33畝、31万5,000円。森林関係(杉、檜)が120畝、1,500万円、合計121・15畝、被害金額1,772万6,000円となっており、居住地の被害状況もこの中に含まれると考えている。

**問** 近年では、猿が頻繁に住宅等に出没し、追い払おうとしても逆に威嚇して危険を感じたと聞いている。あざぎり町では、10年ほど前に2台の箱罾を購入して、1台は須恵の山に設置し、もう1台は須恵の倉庫に保管してあるというところで、捕獲隊からその罾を改良すれば、安価で効果が見込める捕獲方法を担当課に提案したということだが。

### 農林振興課長

提案があったので状況を確認に行ったが、老朽化も進んで部品も紛失しているため、部品の代用品を購入して設置を検討している。

注意喚起を行っている。また情報があつた場合下校時に教員も一緒に下校し、見守り活動といった対応を行っており、農業振興課から目撃情報があつた場合には、教育課への連絡を速やかに行つて、その情報を該当校へすぐに連絡する連絡体系の構築も図っている。

### 副町長をおくりに

**問** 町長はいろんな仕事があるので大変だと思うが、副町長を置く考えは。

### 町長

もう少しだけ考える時間をいただき、副町長人事については今後お答えしたいと思っている。

**問** 今年度中に、副町長を選ぶ考えは。

### 町長

今年度中には、どうか結論を出したいと思っている。



ハクビシン



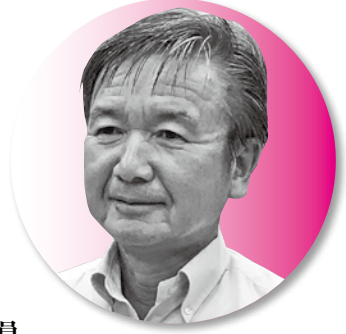
サルによる農作物被害問題のイメージ

### 教育課長

**問** 深田小学校の通学路でも猿が出てくる。学校で鳥獣害に対するの予防策と周知しているか。

今年度は、深田地区のほうで1件連絡、通報があつており、児童生徒に刺激しない、近づかない指導を行い、保護者に対して安全安心メールにて

# 旧庁舎解体後の跡地は



ながい えいじ  
永井 英治 議員



旧岡原庁舎跡

## 問

今年の旧上庁舎と東庁舎が解体されれば、旧免田町の庁舎を除く合併前のすべての旧庁舎がなくなることになる。大変寂しい思いもあるが、すでに旧岡原庁舎跡地が約3,000㎡、さらに旧上庁舎跡地は約3,400㎡と相当な面積の更地ができるが、その跡地利用についての方策、または検討状況は。

## 町長

旧庁舎は全て旧耐震基準の施設となっており、老朽化が進んできたことから令和3年3月に策定したあさぎり町公共施設個別施設計画により解体の方針が決定している。

個別施設計画においては施設の総量を縮減することを目標に掲げており、現時点では旧庁舎跡地の有効活用を目的とした新たな公共施設の整備計画はない。

これからの資産活用については議会、まちづくり審議会、そして公有財産利活用審議会等の意見を聞きながら検討していきたい。

## 問

旧須恵庁舎跡地には、現在須恵地区コミュニティセンター建設の要望が上がっている。その前までは地元地区の公民館建設に向けた話があったと記憶しているがその経緯は。

## 教育課長

昨年までは、地元地区の公民館新規整備案として協議してきたが町からの補助部分の検討に時間を要し、今回は須恵地区のコミュニティセンター建設ということである。望書が提出されたところ

## 問

これから色々な跡地、更地の管理が出てくると思うが、その管理は。

## 財政課長

現在、町有地はシルバー人材センターにより年2回の除草を行っている。旧庁舎等の跡地もこれまで同様に除草や樹木の剪定等の管理が大事になると考えている。

## 問

あさぎり駅周辺整備基本構想は、公民連携の基本構想となっているが、町長の駅前周辺整備構想の想いは。

## 町長

今回の基本構想については、今年度事業でさらに踏み込んで導入可能性調査というものを実施し、その後の結果を踏まえ今後の整備構想を積み上げていきたい。

## 問

基本構想の中の、国道219号の拡幅等の整備の現状と今後の計画は。

## 建設課長

国道219号の整備は、県で事業を進められており、駅前の交差点を中心に現在進行中である。今年度は、交差点の改良に関連して、県道多良木相良線が計画されている。

## 問

ポッポー館と駅前広場は、駅前の賑わいの鍵になると思うが現状と今後の課題は。

## 商工観光課長

夏には駅前振興会によるビアガーデン、冬にはウィンターライトフェスティバル等のイベントを行っている。今後、商工会やあさぎり商社等とも検討して、定期的にマルシェやキッチンカーのイベント等ができないか検討している。





# 施政方針の今後の具体的な対応は

こたに せつお 議員  
**小谷 節雄**

## 問

所信表明の中で「良いものは継承し変えるべきところは改善して」と述べておられるが、北口町政としての4か月が経過し、当然ながら町政の継続性といった観点もある中で、既に定められている計画や方針について、その変更の検討などについてもやむなしとする考えがあるのか。

## 町長

既に着手している部分が多いため、現時点では立ち止まることなく事業を推進しているという状況。ただ、継続されている事業の今後の展開では、当初の計画からの修正なども発生すると思っており、そういった点については今後皆さんと協議しながら進めたい。

## 問

以前、「共同使用公民分館建設の提案について」という町長名での公文書が関係区に

出されたが、関係地区の中ではそれを町の正式な意思と捉えている面があり事情が複雑になっている。公民分館の整備事業についての町としての正式な意思はどこにあったのか、確認をさせていただきたい。

## 町長

町の正式な意思となると、公民館建設等補助規則に掲げている9割補助と、公民分館運営助成金が正式な意思だと思っている。一度更にした状況で考えてみたいと先日厚生文教常任委員会でお話をした。

## 問

この2、3年の中で、結果的に影響を受けた地区で混乱をしているという現実があるので、今後の対応をよろしくお願ひしたい。

町長の新たな施策という点で、今年度中とかあるいは新年度当初予算で実施するようなことを考

えている事があるか。

## 町長

こども医療費の助成については、準備期間に半年ほどかかるので、来年1月実施を目指してやっていきたい。

そのほか子育て支援に関して、給食費の無償化や保育料の無償化をあげているが、財政面を考慮し段階的に思っている。特に給食費については、この人吉球磨管内でも人吉市とあさぎり町だ



あさぎり町の学校給食

けが無償化となっていない状況であり、新年度予算でそれに近いところに持っていきたい。子育て世代の経済的負担の軽減が今後の子育て支援につながるということ、将来を見据えた投資として取り組んでいきたい。

## 問

人への投資として子育て世代をはじめとして大きな期待があるわけだが、実施へ向けての財政的課題の検討は。

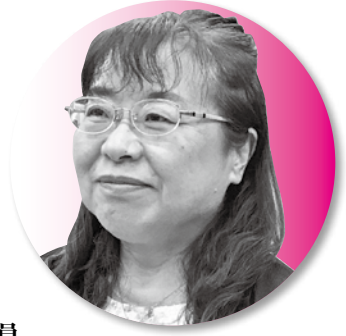
## 財政課長

町長の公約に沿った対応ができるかどうか。一旦始めると経常的な経費になるので、健全な財政運営ができるかという観点で検討に着手している。

## 他の質問

- ・安心安全なまちづくりについて
- ・総合計画の策定について

# 施政方針の今後の 具体的な対応は



かがやま みつこ 議員  
加賀山 瑞津子

**問** 子どもたちへの防犯意識と個人情報への取り組みの高まりを受けて、現在名札の使用は校内のみとなっている。体操服のゼッケンについては、またごみ袋への記名なしという自治体もある。今後の町の取り組みは。

**町長**

ゴミ袋への記名について家庭ごみの中には様々な個人情報が含まれていること等もあり全国的にも問題になっているようだ。

なぜ記名するに至ったかと言うとごみ出しのルールが守られていない事が一番にあると考える。

**問**

ストーリーカーが若い女性のごみを持ち帰るといふ事案や近所トラブルで、捨てたごみの中の請求書やレシートをチェックする等個人情報を守られていない事案も耳にする。ごみ袋に名前がないとしてどのような問題が発生するのか。

**町民課長**

ごみの分別が出来ていない事がでてくる。無記

名の場合は、中身を廃棄物減量推進委員さんに確認していただき本人に伝えてやり直してもらうことにな。そうすると本人が見られたくないごみまで出てくる可能性もある。

**問**

八代市や宮崎の小林地では記名なしで対応されている。小林の様な番号制についてはどうか。

**町民課長**

現在記名制については苦情等もないので今後も続けていければと考えている。



九州内の無記名が進んでいる  
ごみ処理施設

**問**

学校での名札、ゼッケンについては現在の状況は。

**教育課長**

名札については、町内学校については学校のみの

での使用、人吉球磨管内では、7市町村が学校のみでの使用、小規模校で名札が無い所が2校。ゼッケンについては、町内学校含め、人吉球磨管内すべて使用している。

**問**

地元南稜高校は新生高校スタート時に体操服のゼッケンは付けないことになった。生徒指導の先生に確認すると個人情報保護の観点からとの事であった。今回ゼッケンの有無についてはSNSでも広く意見を求めたが「つけるのは当たり前では」「誰々とわかる方が地域の見守りができる」「都会での事件等他人事ではないので有無について検討してみたい」「無いのが当たり前」と様々声が届いた。今後協議は出来るのか。

**教育長**

ゼッケンについては授業及び集団行動時に早めの確かな指示ができて児童生徒の安全確保等が出来ることに繋がることとなる。しかし、小規模校において等、近隣町村や県の動きを注視しながら検討していきたい。

**問**

個人情報の観点から、例えば校長会や教育委員の会議やPTA等で必要かどうか考える事があっても良いのでは。

**町長**

緊急時や災害時には名前が必要だと思うが、時代に即したところで個人情報・プライバシーと言ふことが重要視される中で、やはり今後検討されるべき事項だと思う。

**他の質問**

・越水を繰り返す河川周辺への堤防設置を



自主的に土嚢や板を設置して被害拡大を  
予防する周辺住民の皆さん



こみた かずゆき  
小見田 和行 議員

## あさぎり町の治山、治水は

### 問

気候変動によると思われる豪雨または台風により、山地の災害も激甚化しつつあり清願寺ダムの土砂堆積はもとより、岡原第2水源等も毎年のように被災し常態化しつつある様に感じている。町内河川の内水氾濫区域も、ここ数年の状況で判明してきており、常習地帯では事前の防水板、土のうで自衛手段をとっておられる。あさぎり町国土強靱化計画においては、「最悪の事態を設定し、脆弱性評価の結果を踏まえ、リスクシナリオに応じた取組みの方向を検討し、今後本町の国土強靱化に向けた施策の推進を行う」となっている。まずは伊賀川（須恵）、田頭川（深田）の内水氾濫区域に対する被災後の対応については。

### 建設課長

町の管理河川の伊賀川による浸水被害が寺池地

区、特に川瀬に頻繁に発生している。令和4年度予算で内水被害対策の計画策定業務を発注している。しかし合流先である球磨川、柳橋川、井口川について国、県との計画調整の必要もあり、現在協議中である。田頭川については、県の管理河川であり、河川改修計画を立てられ、今年2月に住民説明会が実施され、年内には用地の取得を行い工事は来年度からの計画となる。

### 問

森園カントリーパーク（岡原）に隣

接する沈砂池も令和4年9月の台風14号においては、能力をオーバーする状況に見舞われた。上流部の沈砂池、砂防ダムの効果に期待するものの線状降水帯等がかかった場合の不安は、地域住民にとって根強いものがある。既存の沈砂池周辺の遊休農地を活用し

て、防災機能を上げるための遊水地の設置はできないか。

### 農林振興課長

既存の沈砂池の用地買収にも課題が多く難航した。県に対しては、もっと大きいものを要望したが、県の予算の都合上今の形となっている。拡幅について周辺の住民の要望があるのは承知しているが、現時点においては難しいと捉えている。



森園カントリーパーク隣の沈砂池

### 問

令和元年、豪雨等による水路への土砂流入対策及び排水機能向上対策の早期着工に関する要望書が土地改良区から提出されている。それらの進捗状況は。

### 農林振興課長

切畑（宮麓）放水路改修については、国県に要望しているが回答がない。齊堂放水路も同様である。鍋塚放水路については実施設計を行っている。他の箇所も要望は行っているものの県の回答がないものもあり、県の計画もあることは推察するが、今後も積極的に要望を続けていきたい。

### 他の質問

・山地災害の防止策について。

# 旧上庁舎解体後の計画 及び周辺整備計画は



みなごし てる子 議員



解体される予定の議場

## 問

旧上庁舎解体後  
周辺との一体的な取  
り組みを構築しての整備計  
画の考えはあるのか。

## 町長

現時点では旧跡地の有  
効活用を目的とした新た  
な公共施設の整備計画は  
ないが、公共施設マネジ  
メント調査委員会・公有  
財産利活用審議会・町づ  
くり審議会等を通じて検  
討を進めていく。

## 問

白寿荘の一部をシ  
ルバー人材センター  
の事務所という事で使用  
しているが、経緯と今後の  
方向性について。

## 高齢福祉課長

農村女性の家に事務所  
が入っていたが、昨年度  
中に移転の必要があると  
いう事で移転先を探す中  
白寿荘も高齢福祉課の所  
管ということから使用さ  
れていないスペースがあ  
り、検討の結果、町長決  
裁を受け移転した。契約  
は1年ごとという事だ  
が、支障がない場合は  
延長するような契約に  
なっている。

## 問

議場について、あ  
さぎり町公共施設個  
別施設計画では議会議場と  
複合している上校区公民館  
も廃止、解体すると明記さ  
れている。様々な団体が活

動の拠点として利用してき  
た上地区の公民館の復元に  
ついて、要望書が連名にて  
提出されている。もった  
いない精神が伝わってく  
る。もったいないように  
か残してほしい。上校区の  
中心、ここが真ん中、ここ  
に地区の住民が集う場所が  
欲しい気持ちがある。唐  
突の発言であるが、ひと  
つの提案として取り上げ  
られ、要望書と共にご検  
討をいただきたい。

## 町長

第1案として代替え案  
というものを考えてい  
る。極力公共投資を避けた  
いという考えもあるので庁  
内でも検討し、納得いく形  
を見いだしていく。

## 問

石田橋について修  
復の考えは。

## 町長

先日石田橋の状況等を  
建設課長と確認し経過等  
も聞いていますが、橋の改  
修だけで6,000万円  
(平成元年積算)という  
金額が出ていたようだ。  
今は免田川右岸側の護岸整  
備、道路の取り付け等で  
かなりの金額になる。地域  
の方と意見交換等も行っ  
て様子を見ていく。

## 他の質問

・産後ケア事業について







なんば あやみ  
難波 文美 議員

# 物価高対策『生活応援券』 交付事業は

**問** 数年に及ぶ疫病の影響や、予断を許さない物価高騰で停滞している地域経済活動の振興と町民生活の支援を目的として7回目の生活応援券交付事業が行われた。

今回は地区によって手元に届くタイムラグが非常に大きく、一部の住民からは不満の声が上がっており、また取扱い加盟店からも応援券の材質や換金時のプロセス改善の要望などもある。交付事業の状況は。

**企画政策課長**

令和2年8月の第1回目交付から6回目までの延べ対象者数は10万3,929名。現在の事業者数は189店舗で余り増減はない。

**問** 券の印刷や配送手数料など毎回発生している経費は。

**企画政策課長**

6回目までの費用合計は、印刷費が579万円。郵送料は1,688万

7,643円。振り込み手数料が216万1,970円。

**問** 近隣では、ひとりあたりの額面が1万円または1万2,000円の交付もあった。経費面を考慮して、回当たりの利用額面を増やす、または交付回数を減らすという考えはなかったのか。

**企画政策課長**

国から市町村に配分される地方創生臨時交付金で事業を行ってきた。生活応援券以外の事業にも利用する必要があったことから、5,000円で発行した。令和5年度は65・1%を配分している。

**問** 登録店舗の方が換金される時に、応援券の一枚一枚に社判をスタンプしなければならぬ理由は。

**企画政策課長**

大変面倒な作業ではあるが、間違いのない証明が必要なお願ひしている。

**問** 使用開始日の8月1日から2週間以上の配達遅延となった理由とは。

**企画政策課長**

大きな理由は4月の町長選挙の関係で、必要な費用を6月議会に補正予算として計上した事である。議決後すぐに発注業務等の依頼をしたが、今回は1回目の配達終了が8月15日となった。不在者は2回配達を行い、不在票を投函。郵便局に再配達の手配を入れてもらう手続としたためタイムラグが発生した。



配達遅延となった第7回目の生活応援券

**問** ありがた商品券は発売初日以降に支所で購入ができる。応援券の再配達に係る手続きを、各支所での受け取りにする事はできなかったのか。

**企画政策課長**

その点については、町民の移動の手間や各支所の窓口業務の混乱を考慮し、直接手渡しができる『ゆうパック』を決めた。

**町長**

6月補正の予算通過後に、担当課より応援券交付事業の時期をずらす相談があったが、ぜひ益前には発行するようにとお願いした手前、準備期間が足りなかった。配達遅延という結果が生まれたことに非常に責任を感じている。今後の交付金等の使い道はさらに検討し住民の方のために事業を中心に進めていく。



〇8月17日(木)

付託案件についての調査及び審査

(財政課)

①国に対し、的確請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める陳情書について

※役場職員のインボイス制度に関する全体研修が本庁舎会議室で行われたので、本常任委員会委員もその研修に参加した後に場所を本会議場議員控室に移して審査をした。

**審査の意見**

「インボイス制度が実施されれば、小規模事業者への悪い影響が懸念される」という意見で一致したが、実際の現場の状況を聞き取り結論を見出す事とした。

(建設課)

②田頭川堤防の道路に関する要望書について

※委員長から本委員会が把握している現場の実情と地元の方々の実情が少々違ってきていると

**審査の意見**

の説明があった後審査をした。

町も議会も地元寄り添いながら最終的には「住民協働による環境資材等支給条例」に基づき整備してもらう方が良いのではないかと意見が出たが、まだ結論を見出すまでには至っていない。



要望が出ている田頭川の両岸の道路

〇8月24日(木)

所管事務の調査(13件)

(企画政策課)

①脱炭素先行地域づくり事業について

**問** 業者の選定や実施地区の選定の方法が不透明ではないか。

**答** 地域の経済効果を考えて地域の業者が有利と考える。実施地区は、最初は岡原と深田地区だがそこで実証ができれば、先では町全体に広げていくとの考えである。

(上下水道課)

**②自然災害に係るあさぎり町水道料金及び下水道使用料の減免に関する要綱について**

**問** 災害時において、断水等減免の地域についての調査は職員による現地確認が詳細にできるのか。

**答** 職員による詳細な調査には限度があると考える。最終的には、管理者が適正な判断による範囲で行うことになる。

(農林振興課)

**③上球磨射撃場老朽化対策事業に伴う補助金の要望について**

(内容)

この施設は、有害鳥獣駆除の技術向上にも関わる施設であり、自己負担額を除いた不足分を上球磨

4か町村から補助金をお願いするもの。



老朽化している射撃場

**問** 猿の被害の対策では、空気銃が有効と聞くが、価格が高額なのでその補助はできないか。

**答** 有効な情報として、今後課内で協議をしたい。

その他各課より令和5年度一般会計補正予算(第5号)について説明を受け審議した。

〇8月2日(水)

(生活福祉課)

①子ども医療費助成の給付方法変更について

**問** 前回スマートフォンで申し込みが出来るようになってい  
るが、ネットによる申請システム  
は、今後どのような形で進めるの  
か。準備期間もあるので、周知も  
徹底し有効活用できるようにして  
もらいたい。

**答** ネットによる申請システ  
ムは、現物給付になっても償還  
払は必要となるので、その辺も含  
めて今後検討していく。

**問** 事務委託料は発生するのか。  
**答** 現物給付することにより  
国保連、支払基金に対し、1件当  
たりの単価により支払いをしなく  
てはならない。

**問** 子どもの数は減ってきてい  
るが、従来から比較してどれ位の医  
療費の伸びを予想しているか。

**答** 現物給付することにより高  
校生まで現在受給資格を伸ばして  
いるので、試算をしたところ、伸  
び率は1・3倍程度。コロナ前の  
令和元年度の決算額が5,100

万円程度。伸び率を掛けると  
5,800万円程、700万円程  
医療費が伸びるのではないかと考  
えている。

〇8月17日(木)

管内現地視察

(生活福祉課)

①放課後児童クラブ3ヶ所

(JAくま木綿葉学童クラブ  
まどか学童クラブ、上学童ク  
ラブ)

**審査の意見**

人数と部屋の広さで、学童達が  
怪我のない保育が運営出来るよう  
話し合いを深めてもらいたい。



夏休みのまどか学童クラブの様子

②健幸運動教室

(健康推進課)

**審査の意見**

参加者が多く、生き生きと活動さ  
れ、実年齢の方も多く健康に対する  
意識向上に非常に貢献している。

(教育課)

③中学校長寿命化改修事業

**審査の意見**

進捗率23・1% (8月17日現  
在)、騒音等が気になる。プレハ  
ブ校舎の内容も気になった。

④丸池のリユウキンカ

**審査の意見**

町の花であるリュウキンカの生  
存、存続をいかに確保していくこ  
との大切さを感じた。環境の変化に  
今後どのように対応していくのか専  
門家を入れ検討していくこと。



絶滅の恐れがあるリュウキンカ  
(令和5年10月撮影)

〇8月24日(木)

(教育課)

①公民分館建設の今後の方針につ  
いて

教育課より、町長出席のもと説  
明があった。

**審査の意見**

行政区の統合問題・建設時の区  
負担額の件・避難所コミュニティ  
の機能等といった様々な意見があ  
り、一度整理して委員会の意見を  
踏まえ、再度提示してもらうこと  
とした。

その他に各課より令和5年度一  
般会計補正予算(第5号)につい  
て説明を受け審議した。



建て替え予定の井上区公民分館

人吉球磨広域行政組合

○8月25日(金) 第3回定例会

令和5年度一般会計補正予算については、執行部の補足説明を受けた後、質疑採決を行い原案通り可決。

令和4年度人吉球磨広域行政組合一般会計歳入歳出決算の認定については、会計管理者により決算書の補足説明、及び代表監査員からの決算審査意見書の報告を受けた後、追加日程第一令和4年度決算特別委員会の設置が提案され、8名の委員会が選任され、決算の認定が付託された。

○9月28日(木)～29日(金)

令和5年度  
人吉球磨広域行政組合  
議会議員視察研修  
(合志市他)



菊池広域連合クリーンの森合志  
焼却場視察の様子

公立多良木病院企業団

○8月29日(火) 第3回定例会

令和5年第3回定例会が8月29日に開会し、4名の議員による一般質問の後に議案8件が上程され、いずれの議案も全会一致で承認可決された。

一・令和4年度病院事業、介護老人保健施設事業及び総合検診センター事業会計(収入支出)利益の処分及び決算の認定については、新型コロナウイルス感染症への対応などへの職員の皆さんの努力もあり、1日平均入院患者数145.3人、外来患者数410.5人などの実績により、病院事業で4億4727万9,556円の純利益となるなど、3事業合計で4億3973万6,609円の純利益となった。



公立多良木病院企業団議会

議会運営委員会の研修

○6月22日(木)

場所・熊本県町村議長会会議室

(自治会館)



講師 古家 洋介  
熊本県町村議長会  
事務局長

- ①議員請負緩和(300万円を上限とする)と政治倫理条例
  - ②議員間のハラスメント
  - ③長期離職(疾病その他の事由により長期間議会の会議を欠席する)における報酬等の減額、支給停止及び不支給
  - ④全員協議会等への出席時費用弁償支払い
  - ⑤議会解散(議員と町長の選挙を同時に実施する)に関して議会基本条例の一部改正
  - ⑥全員協議会のあり方
- 発議検討課題を事前に送付し、それについての見解、助言などをいただく内容で進めた。基本的な考え方としてレクチャーしていただき、今後の執行部との円滑な運営に結び付ける一助となることを確信した。

## 全員協議会視察研修

### あさぎり町は岡原・深田を対象として推進

#### 9月14日、球磨村の「脱炭素×創造的復興」によるゼロカーボンビレッジ創出事業を視察

球磨村は、ゼロカーボンシティ宣言を令和3年6月におこない、電動スクールバス実施事業や自家消費型太陽光発電と蓄電池を導入、被害公営住宅と、森林組合製材所、公共施設学校等に設置していた。事業主体となっている(株)球磨村森電力は、事業収益の1%を村へ還元。また「森電力エコチェンジ商品券」を発行し、地域経済循環への貢献をしていた。

あさぎり町も脱炭素先行地域に選定され、令和5年度から実現性の観点から先行地域を岡原・深田の2地区を対象として事業が計画されている。しかし選定されるまでの計画や今後の取り組みについて、議会を始め町民の理解が得られていない状況である。ゼロカーボンニュートラルに向けた取り組みは、全町民の理解と協力なくしては進展しない。



製材所の屋根の上に設置された太陽光パネル



太陽光発電を利用した乾燥施設

## 令和5年度町村議会広報研修報告

令和5年9月26日(火)、町村議会広報研修会が東京都千代田区大手町の日経ビル3階日経ホールにて開催された。

研修会は、3部門に分かれ

「広報担当者が知っておきたい法律知識」

弁護士 玉置菜々子氏

「なるほどそうか・・・知ってよかった！」

「読者を夢中にさせる広報紙づくり基礎の基礎！」

メディアプランナー 白木一誠氏

「パッと伝わる広報紙に！ やってはいけないデザイン講座」

グラフィックデザイナー 平本 久美子氏

を表題に、それぞれ専門家の観点から広報紙を発行するうえでの注意点や、読者に解りやすくする為の工夫・技法等が示された。



白木一誠氏による講義の様子

松村祥史国家公安委員長

表敬訪問及び要望

令和5年9月27日(水)

電話による詐欺事件や電動キックボードによる事故等の対策、防災担当大臣も兼務されているので、町の治水・治山対策及び災害復旧を早急に実施していただくよう要望した。



# 議員は何しとっと？ 議会の動き

(7月～10月)

	月 日	行 事	出席者
7月	3日(月)	議員懇談会・全員協議会	全員
	10日(月)～11日(火)	議員視察等研修(10日) デジタル田園都市国家構想等 (11日) ツムラ茨城工場	全員
	12日(水)	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	13日(木)	郡定例議長会〔山江村役場〕	議長
	14日(金)	三期成会及び川辺川ダム建設促進協議会総会〔華の荘〕	議長
	18日(火)	全員協議会・第3回会議・広報調査特別委員会	全員
	20日(木)	令和4年度くま菜草生産組合総会〔せきれい館〕	議長
	26日(水)	県議長会主催 常任委員長・議会運営委員長研修〔オンライン〕	議会運営委員 議長・副議長
	27日(木)	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
8月	1日(火)	議員懇談会・全員協議会	全員
	2日(水)	厚生文教常任委員会	厚生文教常任委員 議長
	7日(月)	全員協議会・第4回会議	全員
	10日(木)	上球磨正副議長会〔多良木町役場2階〕	議長・副議長
	11日(金)	あさぎり町文化協会役員研修会・懇親会〔彦六〕	議長
	17日(木)	厚生文教常任委員会(町内現地視察)・総務建設経済常任委員会(インボイス)	全員
	21日(月)	郡定例議長会〔地域振興局〕	議長
	22日(火)	正副議長研修会〔自治会館2階講堂〕	議長・副議長
	23日(水)	医療連携講演会〔公立多良木病院〕	議長・副議長
	24日(木)	全員協議会・厚生文教常任委員会・総務建設経済常任委員会	全員
	28日(月)	全員協議会・第5回会議・公共施設マネジメント調査特別委員会	全員
	30日(水)	議員懇談会・全員協議会	全員
	31日(木)	議会運営委員会	議会運営委員 議長・副議長
9月	5日(火)	全員協議会・9月定例会開会～15日まで	全員
	6日(水)	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
	7日(木)	議会運営委員会・全員協議会	全員
	8日(金)	議会活性化特別委員会・全員協議会	全員
	13日(水)	金婚夫婦表彰式〔ポップー館〕	議長
	14日(木)	公共施設マネジメント調査特別委員会・全員協議会〔球磨村役場～森林組合〕・議会運営委員会	全員
	15日(金)	議会運営委員会・全員協議会	全員
	16日(土)	熊本県民体育大会応援〔大津高校 他〕	議長
	22日(金)	郡定例議長会〔錦町役場3階〕	議長
	25日(月)	高橋正重翁祭典並びに墓前祭〔菅原高橋神社〕	議長
	26日(火)～27日(水)	(26日) 議会広報委員研修会〔東京・日経ホール〕 (27日) 松村祥史国家公安委員長表敬訪問	広報調査特別委員 議長
	30日(土)	まこと保育園落成式	厚生文教常任委員 議長

月 日	行 事	出席者
2日(月)	議員懇談会・全員協議会・公共施設マネジメント調査特別委員会	全員
4日(水)	全員協議会・第7回会議	全員
6日(木)	広報調査特別委員会・熊本県町村議会議員研修会〔オンライン〕・公共施設マネジメント調査特別委員会	全員
10日(火)	多良木町議会視察受入れ(議会中継関係)	議長
11日(水)	郡定例議長会〔相良村体育館会議室〕	議長
12日(木)	広報調査特別委員会	広報調査特別委員
14日(土)	笑祭	議長
16日(月)	全員協議会・公共施設マネジメント調査特別委員会・人吉・日向間一般国道整備促進期成会同盟会総会〔ホテルひまわり荘〕	全員
17日(火)	郡町村議会議員親善グラウンドゴルフ大会・交流会〔多良木町世代間交流グラウンド〕	全員
18日(水)	第72回球磨畜産共進会〔球磨家畜市場〕	全員
20日(金)	全員協議会・第8回会議	全員
22日(日)	第21回あさぎり町文化・芸術祭	議長
24日(火)	監査委員会全国研修〔東京 LINE CUBE SHIBUYA〕 広報調査特別委員会	議選監査委員 広報正副委員長
26日(木)～27日(金)	常任委員会研修 (26日)宇土市・美里町 (27日)阿蘇市・小郡市	全員
28日(土)	令和5年度百太郎水戸神社秋季祭典	議長
30日(月)	厚生文教常任委員会	厚生文教常任委員 議長
31日(火)	森林・林業・林産業活性化九州大会〔熊本城ホール〕	議長・副議長

## 傍聴者の声

～第6回会議(9月8日)～

「傍聴者の声」コーナーを設けました。多くの町民の皆様の声を掲載してまいります。ご協力よろしくお願いいたします。

2年 吉村 藍璃

議会の内容については、少し難しい部分もあったのですが、補助金やサービスについて一つ一つ細かく説明されていたので、お金がどう流れているのか把握しやすいと思いました。この経験を今後に生かしていきたいです。

2年 後藤 崇宏

国からの補助金があったりそれがどう使われているかがわかりました。傍聴する人に資料がなく少し分かりにくかったのですが、気軽に見れて勉強になるので見に行ってみようと思います。



球磨中央高校の生徒さん

2年 黒川 凛々亜

障がい者の方や育児、高齢者の方への補助金が多いように感じました。大学への進学で奨学金を最低でも四百万は借りないといけないのに、補助金十数万はすこし少ないと感じました。出産や子供への補助金が多く、未来の事も考えて良いなと思いました。

2年 岸田 空海

今回は、補助金についての説明を聞きました。児童のいる家庭への補助金もいろいろな補助金があって驚きました。児童を預けれる施設も増えたらいいなと思いました。貴重な体験ができました。今後は住民として目を向けてみたいです。

# 町民の声

このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願いいたします。

町内の方々に寄稿していただきました

## 防災月間に思う



免田地区（久鹿）深田仁王地区出身 **椎葉 悠太さん**

令和2年7月豪雨、記憶に新しい。この未曾有の大災害を目の当たりし、皆さんは防災に対する気持ちに変化は？防災や災害と聞くと何だか難しい、堅苦しい、消防や役所がどうにかしてくれるという意見も多い。

しかし、数十年に一度の災害は、今や毎年のようにそして何回も起きている。そのような中で自治体や住民に問われる防災・減災とは何か、官民一体となり考えていくことが急務である。私は、熊本地震を機に防災士の資格を取得し、地域防災について町内の防災士と話し合ったり自らも災害備蓄品を用意したり対策をしている。先に述べたように、防災と聞くといざ行動に移すのは簡単ではない上に、防災に対する町と町民との間に温度差がある一方で、自主防災組織で防災計画を策定した地区もある。

防災に対する意識を一気に加速することは難しいが、地区で清掃活動レクリエーションをする際に少しの時間でも良いので、災害時に自分たちがどの様に行動するか話す機会から始めては良いのではないだろうか。

災害リスクは住んでいる地域によって異なるため、ひとつとして同じ被害になるとは限らない。住んでいる地区、職場、出先ではどんな災害でどのようなリスクがあるのか防災マップには詳しく記載されているため、使えるはツールすべて使って防災に対する意識を少しずつでも良いので高めてほしいと考える。

町としても、町民が防災用品を購入する際に補助を出して頂くなど制度を策定すれば、意識的に防災に備えようと行動する町民も増えるのではないだろうか。しかし、備えで終わりではなく、持続可能な防災行動につなげるために、住民参加型の防災訓練の充実化、住民主体の避難所運営のレクチャーなど「公助」を安心材料にすることからプラスαで「自助」「共助」で発災直後を乗り切ること出来るように設備や制度を設けて頂きたい。

## ■表紙の写真について

あさぎり町誕生20周年を祝う祭り「笑祭」でのダンス



球磨・人吉中体連駅伝競走大会  
あさぎり中学校  
男子 **優勝**  
女子 **2位**



## 編集後記

議員は P.22〜23 参照  
何しとつと？



「町議会議員は、本会議の他にどんな議員活動をしているの」と聞かれることがあります。本会議の他  
・ 全員協議会・議員懇談会  
・ 各常任委員会  
・ 特別委員会  
・ 人吉・球磨地域で構成される一部事務組合  
が不定期で行われます。  
また、あさぎり町は通年議会（常に議会が活動できる状態）ですので、災害などの突発的な出来事や緊急の行政課題等への対応を図るための議会も開催されています。  
さまざまな活動を行っている事を御理解頂ければと思います。  
(岩本 恭典)

編集発行者	長 森岡 勉
議 員	長 溝口 勉
広報調査特別委員会	委員長 岩本 峰男
委員	副委員長 山井 英典
委員	副委員長 山口 和幸
委員	副委員長 豊永 喜一
委員	副委員長 小出 高明

★お願い★ 「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等で伺って取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

